

シリーズ「町会紹介」—和泉—

引き継がれる伝統と戦争の足跡

平成31年1月1日から和泉町会の町会長を務めていた大いに高田長さん(ひさし)に町会の現状と歴史について伺いました。

現在和泉町会は7常会と2

92世帯で活動中です。

町会では、近年頻繁に発生する豪雨災害に備え、人的被害を少しでも減らすため隣組の繋がりを密にして要配慮者や子どもたちが速やかに避難できるように取り組んでいます。また、松枯れ病の被害も深刻となり、その対策も喫緊の課題となっています。

町会の主な行事は毎年5月2、3日に行われる「和泉八幡社」の例大祭です。社は元文元年(1736年)に焼失したため現在地に再建されたといわれていますが定かではありません。本殿には室町時代の建築様式が多く残っています。お祭りには伝統的な「お舟回し」を催す他、戦時に始まった「浦安の舞」



5月1日現在の中山	
世帯数	1,362
人口	3,302
【問い合わせ】	
中山公民館報編集委員会	58-5822

を小学生が奉納しています。かけがえのない伝統・文化を継承してくれた先人の御労苦に感謝し、次の世代にも伝えたいと思います。

歴史を紐解くと、太平洋戦争の戦時下、町会の西、中山靈園の東側斜面には軍の航空機製造のため、朝鮮・中国の多くの労働者により半地下工場と呼ばれる軍事工場の建設が進められました。劣悪な生活条件下で終戦後も祖国に帰ることが出来ず亡くなつた人もいたそうです。過去を振り返り、過ちを一度と繰り返さないためにも一人ひとりが平和や命の尊さについてもっと关心を持たなければいけないと思います。

自然豊かで景観の素晴らしい中山の地、百二十年の長い歴史があり地域と共に歩んでいる学校に赴任できましたことを大変嬉しく思っております。素直で明るい子どもたちが毎日元気に通っています。これもご家庭ならびに地域の皆様のおかげであります。本当にありがとうございます。郷土「中山」に愛着をもち、心豊かな子どもを育むために微力ではありますが尽力いたします。今後ともお世話になりますがよろしくお願ひいたします。



中山小学校 教頭
松下 玲



半地下工場跡



お舟



浦安の舞



中山保育園長
滝澤 美和子

豊かな自然と穏やかな空気のもと、保育園にてお世話をします。

今後は住民同士の絆を更に深め、より良い人間関係を構築し、今まで以上に町会が活性化するよう町会全体の機運を高めていきたいと考えています。

この度、豊かな自然に恵まれた歴史と文化が息づく中山で考古博物館長としてお世話になります河内正弘です。



考古博物館長
河内 正弘

なっています。子ども達は皆明るく素直ですね。一緒にいると、自然と笑顔になり心が癒されます。それも保護者の皆様の愛情と、地域の方々の温かい見守りがあるからこそ感じます。子ども達の健やかな成長を願い、元気いっぱいの保育園であるよう、皆様にご指導いただきながら努めて参ります。中山の「素敵」を沢山見つけたいと思つております。

考古学も地域の事も何も知らない私ですが、地域の皆

様方の温かいご指導と叱咤激励をいただき、日々研鑽をしてまいります。そして、この

素晴らしい環境を生かし、考古博物館が地域とより一層の

繋がりを持つ学習の場となる

よう努めてまいります。今後とも一層のご指導を賜ります

ようお願い申し上げます。

